

## 癌化学療法輸液約束処方 呼 33

癌種 非小細胞肺癌 (Stage III B/IV)  
 レジメン名 呼33 NIVO

薬品名 (商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
オプジーボ	ニボルマブ	NIVO	240 mg/body	div	30分	DAY 1	14日
			480 mg/body	div	30分	DAY 1	28日

### [ DAY 1 ]

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 100ml + オプジーボ 240 または 480 mg / 30分 (インラインフィルター使用)
- ③ NS 50ml / 5分

### 【注意事項】

- ・希釈後の最終濃度を0.35mg/ml 以上とし、1時間以上かけて点滴静注。
- ・投与の際にはインラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用すること。
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。
- ・パワーポート、BARD Xポート(シリコンカテーテル)使用不可

### <休薬規定>

- ・AST,ALT ≥ Grade3      ・間質性肺炎: G1→投与延期を検討、G2→投与延期、G3→投与中止
- ・有害事象 ≥ Grade3      ・重症筋無力症、筋炎、: 投与中止
- ・自己免疫疾患の発症      ・大腸炎、下痢: G2→投与延期(G1→再開)、≥G3→投与中止
- ・肝機能障害: G2→投与延期(ベースラインまで改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ: 投与延期または中止
- ・神経毒性: G2→投与延期(ベースラインに改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・皮膚毒性: ≥G3→投与延期(G1→再開)
- ・腎毒性: G2→投与延期(G1→再開)、≥G3→投与中止
- ・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症: 専門医と連携し投与中止も検討